

# 2 学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和8年3月11日 第98号  
文責:江頭 俊輔

## [東日本大震災]

2011年3月11日14時46分、三陸沖でマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、宮城県栗原市で震度7を記録。東北から関東の太平洋沿岸に巨大な津波が襲来し、死者・行方不明者2万人以上、戦後最大規模の自然災害である。(内閣府防災情報のページより)

当時江頭は高校3年生の18歳で、昼寝をしていたことを覚えています。昼寝から飛び起きると、テレビではずっとその報道。いつもの日常とは全く違う1日となったことを鮮明に覚えています。今年で15年め。**みなさんが生まれていないときの出来事だからこそ、今回は通信に記載しようと思っています。**防災拠点校である新宮東中学校の一員として、一緒に考えていきましょう。

## [江頭の東北訪問]

江頭は2012年7月にあるラジオ番組の募集に応募し、東北に行くことになりました。「みんなに笑顔を届けたい。」というテーマのもと、江崎グリコの協賛で、グリコ製品を積んだ「グリコワゴン」が各地の被災地を訪問するという企画でした。(左図前段左端)



当時からすでに、教師になることを志していた江頭は、「東日本大震災」を子どもたちに伝えたい、自分にできることを広げていきたい。と応募したことを覚えています。それと同時に、東日本大震災が起きて4か月後の東北を訪問するにあたって、どんな気持ちで訪問するべきか、訪問が決まってからとても悩んでいたことも覚えています。

現地では、報道にあるように「まっさら」な土地。**あったはずのものが何もなくなってしまったという空虚さと同時に自然の脅威をまざまざと感じました。**ぼっと訪れた江頭も笑顔になれない、ちょっと元気が出なくなる、肩が少し重いような、そんな雰囲気を感じました。

## [ダイヤモンドだね、AH AH いくつかの場面]

最も印象に残っているのは、復興市場を訪れたときでした。被災地を盛り上げようとしている市場で、市場中にかかっているラジオから流れていたのは、あの有名な「DIAMONDS/PRINCESS PRINCESS (通称:プリプリ)」(下図) みなさんの中にも聴いたことがある人は多いのではないでしょうか。

**「何があっても色あせない気持ちをダイヤモンドという歌に乗せて」とリクエストされたこの曲を、雲**

ダイヤモンドだね AH AH いくつかの場面  
AH AH うまく言えないけれど 宝物だよ  
… (中略)  
何にも知らない AH AH 子どもに戻って  
AH AH やり直したい夜もたまにあるけど  
あのとき感じた AH AH 気持ちは本物  
AH 今私を動かすのはダイヤモンド

つない青空のもとで聴いたことは一生忘れないと思います。「ダイヤモンド」は高価・硬い・キラキラしている、そんな印象しかなかったです。でもこの歌は、いくつかの場面という思い出を宝物・ダイヤモンドとして胸に秘めて、前を向かせるような聴き方もできることに気付きました。**人の思いはダイヤモンドのようにずっと大切にされ得るはず。大切に人がいれば。**震災から15年。いろいろな人のいろいろな思いが、いろいろな人に大切にされますように。私たちも大切にできますように。